

教育講演会

「障害者の自立と就労を進めるためには」
～（株）かんでんエルハートの
取り組みから～

平成21年1月17日、たかつガーデンにおいて、教育講演会を実施しました。

講師として、株式会社かんでんエルハートの設立に尽力され、初代社長をつとめられた戸田幸彦先生にお願いいたしました。



かんでんエルハートは、第三セクター方式による重度障害者多数雇用事業所です。「共生」をキーワードとし、あらゆる障害者が交流できる場、仕事を通じて誰もが無限の可能性を拓く場をめざして、さまざまな事業をすすめておられます。現在、約140名の従業員の内、約3分の1が知的障害者、約3分の1が身体障害者であり、重度の方を含め、それぞれの能力・適性を活かしての仕事に励んでおられます。働く喜びを持ち、人を育てていく日常のありさまについて紹介していただきました。

障害のある人もない人も皆、同じように社会に出て働いて生活したいと願っています。企業で働き自立していくために学校・福祉施設・家庭で連携して育成すべきことは何か、ということに熱弁をふるわれました。

何より、社会的自立と意欲を育てることの重要性。そのためには、善悪の判断、根気、あきらめない気持ち…が重要。そして、体力、基本的生活習慣、達成感、充実感…

講師の戸田氏自身が、ダウン症による知的障害に加え、目も不自由、言葉も出ない重度重複障害を持つ子どもの親でもあるため、お話の内容すべてが、私たちの心に強烈な実感とインパクトを持たせるものでした。

講演の最後には、参加申込用紙に書かれていた参加者からの個別の質問についても答えてくださいました。

何人か、保護者の方も参加されました。もっと多くの方が、このような話を聞ける機会をもてたらいいな、と思いました。

途中でビデオが映らなくなるなど運営面で不手際があったこと、お詫び申し上げます。

参加された方のアンケートの中に、今回と同じように、障害者を雇用している会社や施設についての講演、障害のある子どもの保護者の講演を、実施してほしいという意見がありました。これからも、さまざまな学習の機会を持てるようにしていきたいと考えています。

参加された方のアンケートより

・子どもの指導に関して

「子どもをしっかり見つめること」「子どもと向き合い、思いを感じること」から、その子どもの進路(行き先・就労)を見据えた指導をしていく重要性を再認識した。

将来、社会参加ができるために、また、企業で働けるために、育成しておくべきことを、具体的に知ることができた。

必ずよいところがあるので、そこを伸ばしていくことは、好ましくない行動をとらないようにつながることが、具体的な例で、よくわかった。

- ・企業活動と障害者の居場所作りを合致させていることがすばらしく、障害のある子どもの将来に、少なからず希望を持つことができた。
- ・自分自身に今何ができるかを考え、実践するための気持ちを持たせてくれた。
- ・参加人数が多くなかったこととビデオの不具合が残念だった。
- ・事前の質問用紙がよかった。